

単元まるごと計画「小学校の思い出をつたえよう」（全8時間）

単元のゴール（can-do）：小学校生活でいちばんの思い出について、行事の名前・したこと・そのときの気持ちを My best memory is / We went to / We enjoyed / It was で伝え合い、6年間をふり返って友だちと分かち合う。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	What's your best memory? / My best memory is / We went to / We enjoyed / It was などの表現について理解しているとともに、小学校生活の思い出について、したことや感想を伝え合う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	6年間の思い出を分かち合うために、いちばんの思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	6年間の思い出を分かち合うために、いちばんの思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全8時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	SO	先生の小学校の思い出を聞く（What's your best memory? に会う）	歌／チャンツ	記録なし
2	SO	学校行事の言い方＋6年間の思い出アルバム（活動1）	Small Talk①話題1（先生の思い出）	記録なし
3	YT	したこと・気持ちの言い方（We went to / It was）	歌／チャンツ	記録なし
4	YT	思い出パネルの下書き（活動2）＋書きWS①	Small Talk①話題2（6年間の思い出）	記録なし
5	EC	パネルを仕上げ、ペアで案内の練習（3～4文）	歌／チャンツ	◎ 行動観察・パネル点検（知技）
6	EC	思い出ミュージアム①（案内役とお客さん役を交代）→中間指導	歌／キーフレーズ暗唱	◎ 行動観察（思判表）
7	OH	世界の子どもの学校生活を聞く（教科書OH）＋ミュージアム②→おわりに思い出ベスト3発表	歌／チャンツ	記録なし
8	OH	パフォーマンステスト（スピーチ＋Q&A）＋6年間の振り返り	なし——テストに使い切る	◎ テスト（知技・思判表）＋振り返りカード（態度）



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌	—（教科書付属音源）
5-10	Small Talk／チャンツ	Small Talk台本①
10-15	行事のことばの練習	絵カード
15-17	めあての確認	—（黒板に型を掲示）
17-37	主活動 ※途中で中間指導	活動シート1～2
37-45	振り返り（1行）・あいさつ	振り返りカード（汎用）

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. 思い出アルバム（第2時）は1回戦の8枚でやめる。残り8枚は第3時のはじめに回す
- 2. ミュージアムの案内は1人30秒・4人まで厳守（延ばすと第7時の本番②が消える）
- 3. OHの「世界の学校生活」は聞いて1つ気づきを言えたらOKに圧縮してよい
- 4. 書きWS①の3ブロック目は宿題に回してよい（音声で言えていることが先）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ 絵カード（提示用1部＋アルバムづくり用に班数分）
- ☐ 活動シート1～2（各時間、人数分）
- ☐ 書きワークシート①（人数分）
- ☐ パフォーマンステスト式（先生用・第8時）
- ☐ 振り返りカード（汎用の型・単元名だけ書き換え）
- ☐ 思い出パネル清書用の画用紙またはA4色画用紙（第5時・そのまま卒業前の掲示になる）
- ☐ この学校の6年間の行事一覧（学校要覧や年間予定から。無い行事のカードを先に抜くために目を通しておく）

配慮が必要な子へ

- ・途中で転入してきた子・長く欠席していた子がいる。「6年間」ではなく「この学校で楽しかった1日」でよいと第1時に宣言する（給食・休み時間・そうじの時間も立派な思い出）
- ・中止や縮小になった行事のある学年は、読み上げ文からその行事を外す。「できなかったこと」を並べさせないことが配慮の本体
- ・旅行先や持ち物の話に流れないように、パネルは「どこへ行ったか」より「だれと・何をして・どう思ったか」を書く欄を先に置く
- ・人前が苦手な子は案内役を2人組にする（ことばが止まっても相手が引き取れる）。写真は使わず絵でよいことも先に伝える

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・この単元の地雷は「思い出格差」。第1時の先生モデルをあえて地味な思い出（給食のカレーの日、雨の日の教室遊び）にすると、行事に参加できなかった子の口がひらく
- ・Weを使うのは、行事が学級みんなの出来事だから。行事名に our をつけるのも同じ理由（our sports day）。I / the との使い分けは教えず、板書をいつも We・our の形で見せるだけにする
- ・パネルは卒業前の掲示・保護者公開授業の展示になる。第4時の下書きの段階で「これはろうかに貼るよ」と伝えたと、書く手つきが変わる